

おたか

苅田町青少年育成町民会議だより

家庭教育講演会

苅田町青少年育成町民会議
苅田町PTA連合会合同



演題「親子のかかわり！
子どもの目線・大人の目線」
講師 教育カウンセラー
米光 真由美 先生

心にグツとくる
お話でした！



子どもたちの未来は・・・？

食えることとは・・・

生きることの原点である

愛情の原点である

家庭の原点である

食えることにまつわる体験が

精神的な成長の原点になる

2018.1.19.(金)PM6:00～

苅田町中央公民館にて、西日本工業大学勤務の教育カウンセラーの米光真由美先生の講演を拝聴しました。DVDを活用した先生の講演は、先生の声に耳を傾け、うなずいたり、時には、涙したり・・・、参加者一人ひとり感じ得るものがたくさんありました。

演題にある「親子のかかわり！子どもの目線・大人の目線」どこに目線をおくのか！？

最後は、家庭だと思えます。「子育てとは、親育て」家庭の中での役割・自分の役割を考え、人のせいにせず、家庭の中の会話を大切に健康に過ごす・・・、を常に目線の先に置き、日々親育てをしていきたい！と感じました。

講師の先生、当日ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

心豊かでたくましい青少年の育成をめざしましょう！

苅田町ふれあいマラソン大会

3月に入って、ようやく春らしくなり3月4日(日)濃い朝霧の中、第35回苅田町民ふれあいマラソン大会が白川地区でスタートしました。朝早くから、各団体と共に当町民会議の会長をはじめ、各コースの交通整理を行いました。参加者は、苅田町内、京築、北九州地区、福岡から多くの参加者で約600名、小中学生から老若男女で行われました。

最初の1km親子の部の時には、朝霧も晴れ、絶好のマラソン日和の中、多くの声援をうけ、親子で仲良く手を繋いで、ゴールしていました。

次々と各コースがスタートして、空にパラグライダーが飛んでる下を気持ちよく、春風を切って完走していました。

完走後は皆笑顔で、ボランティアの白川小学校の皆さんが用意された猪鍋等をいただいていた。

スポーツは子どもも大人も心が一つになる一番の絆。

これからも益々、このマラソン大会が盛んになる様、応援したいですネ。



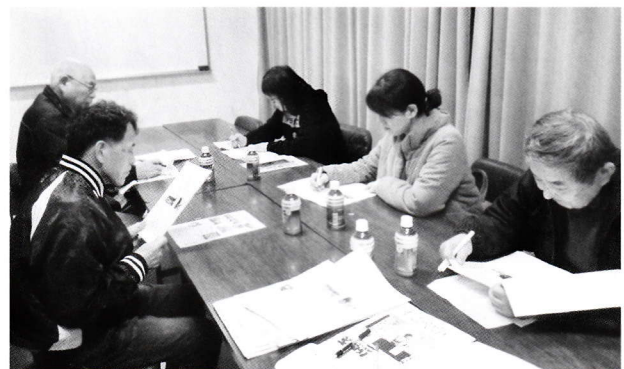
お父さん、がんばって!!



親子マラソンの様子

町民会議のすこやか編集委員会について

町民会議のすこやか編集委員会は、町民会議の委員より選ばれた7名で編成されております。小・中学校、苅田町子ども会育成連合会や「子どもひろば」などから情報の提供を頂いたり、町民会議独自の事業やサポートした行事の内容を編集し、写真やイラストを多く掲載したり、平易な言葉を用いることで町民の皆様が読みやすい機関誌を目指して頑張っています。



同じ子どもなんて一人もいない

テストで何点とったか、どれだけ何々ができるかなどと、他の子どもや平均値との比較に目を奪われ、自分の期待から子どもを評価することは、子どもたち一人一人の個性や成長のために良くありません。そういう親の下では、子どもまで相対的な順位ばかりを気にするようになってたり、自信をなくしたりしがちです。親は、比較して不安になるのではなく、どんなときも子どもの個性と成長を信じ、ゆっくりゆったり育てたいものです。

他の子との比較にとらわれない



安全を確保する 防犯パトロール&青少年みまもりパトロール

全ての青少年の健やかな成長を願って…。

委員講演会開催される

- 日 時 平成30年2月27日(火)
- 場 所 三原文化会館 大ホール
- 講 師 福岡県行橋警察署 生活安全課長
警部 石原 竜 起 氏
- 演 題 『青少年の犯罪情勢と京築の実態について』

今回は、行橋警察署生活安全課長 石原竜起警部に『青少年の犯罪情勢と京築の実態について』の講演を実施していただきました。多様化、頻発する少年犯罪の防止のためには家庭・学校・地域住民・関係団体などの連携がより一層重要になってくることを過去の少年犯罪のデータ等を示しながら、分かりやすく説明して下さるなど、理解しやすいもので、参加者が話に聞き入っていました。

中でも、平成28年の福岡県の少年警報犯の検挙補導人員は全国ワースト6位だったこと。また、平成29年の同検挙者数は、大きく減少しており、その原因は再犯者数の減少によるものであるが、再犯率は70.3%と上昇しており、一見、矛盾する結果のようですが、同一者が複数回逮捕されているという憂慮される状況であるそうです。

さらに、少年が犯罪に巻き込まれる件数が増加しているとのことで、このような状況を防ぐために町民全員が問題意識をもって努めていく必要性を痛感させられるものでありました。



不審者・変質者の出没について

4月に入ってから12月末までに31件(昨年度同時期33件)の不審者・変質者が出発しています。子どもたちが被害に遭うまえに防ぎたいものです。

町民皆様方のご協力・ご支援により児童・生徒の安全を見守ってください。

※同様の事例が他に2件あります。

出没状況

場 所 小波瀬コミュニティセンター南側路上
対象者 女子生徒 2名
時間帯 午前11時30分ごろ(土曜日)
被 害



小波瀬コミュニティセンター前の坂を降りたところの横断歩道で、生徒が待っていると西工大前駅側から、バイクに乗った男性がじっと見ながら通り過ぎた。その後、Uターンして戻り、再びじっと見ながら隣を20mほど並走したので、近くを歩いていた60代位の男性のあとと一緒に歩いた。すると、バイクに乗った男は、生徒達を追い抜き、先の方でバイクを止めて待っていたため、生徒達は細い道に走って逃げ、付近のアパートの物陰に隠れた。

1〜2分程隠れていると、男はあきらめて走り去った。

※不審者等に気付いたらすぐ110番または近くの学校へ連絡ください。

町民会議 29年度1年間の活動

非行や犯罪、いじめの多発など、子どもをめぐる問題が深刻化しているなか、本町民会議は、社会全体のモラル向上や地域の教育力を高めていくことを目指して出来ることから始めていきたいと思ひます。

“継続は、力なり”



第29回 総会



オアシス人形劇



案山子作り



案山子祭り



子どもフェスティバル木工教室



シンナー等薬物乱用防止講演会



朝の声かけ運動 白川小学校



冬休み特別補導

ママたちのつぶやき ⑨ 「いってらっしゃい」

我が家の息子は、もうすぐ高校受験

小さい頃 初めて乗った幼稚園バス
くしゃくしゃに泣いている息子に
こちら涙目になりながら
「いってらっしゃい」

小学校6年間
いつも一緒に通ってくれたランドセル
背負った背中に
「いってらっしゃい」

自転車通学をした中学校時代
「気をつけてね」の言葉を添えて
「いってらっしゃい」

元気な時も落ち込んでいる時も
「いってきまーす」と頑張ってきたよね
さて今度は、人生初の入学試験
きっと良い結果が出ることを願って
「いってらっしゃい」

自分で考え自分で行動 できる人に育ってほしいなら

子どもの歩く先の障害物をすべて先回りして
どけていく(過保護)、子どもの一歩一歩につい
て指示をしていく(過干渉)のでは、いつまで
たっても一人で歩けるようになりません。また
チャレンジするチャンスや失敗から学ぶチャン
ス、遊びやいろいろな体験をするチャンスも
奪ってしまいます。

親は、他の子どもと比べたり、自分の望みや
ペースを押しつけたりしがちですが、子どもは
一人一人全部違います。その子の個性を認め、
ありのままに愛したいものです。

過保護や過干渉は
やめる、と決めよう。





苅田町立苅田小学校



苅ッポーくん

<学校教育目標>

心豊かで、自ら学ぶ意欲と実践力に満ちた志のある児童の育成

苅田小学校は、児童637名と職員44名の学校です。学校教育目標達成に向けて、学校と家庭、地域が連携して取り組んでいます。平成29年度は、「**すすんであいさつ、だまってそうじ、みんなが分かる学び合い**」を合い言葉に、全校一丸となって取り組みました。

すすんであいさつ



児童会とPTAが正門と西門であいさつ運動を行っています。集団登校してくる子どもたちが、元気よくあいさつをしています。

だまって掃除



6年生と1年生がいっしょに掃除をしています。6年生が手本となって、掃除の仕方を教えています。

みんなが分かる 学び合い



考えを伝え合い、よりよい考えをつくっていきます。学び合いを通して、学力向上と集団づくりを行っています。

児童会スローガン

日本一 感謝・団結 みんなで笑顔



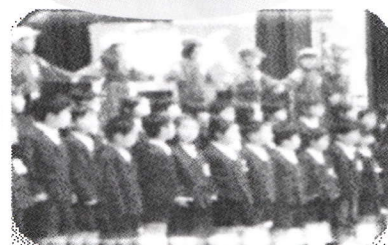
苅田っ子集会では、大縄とび全校合計2000回達成!

5月に全校で児童会のスローガンを考えました。運動会や集会をはじめ様々な場面で、このスローガンを常に意識し、全校で団結して取り組みました。みんなでやりとげた達成感を味わうとともに、周りの人への感謝の気持ちをもちました。どの場面でも、たくさんの笑顔が見られました。



運動会では、紅白ともに全力を出し切り、引き分け!

ありがとう、6年生!



※苅ッポーくんは、今年より苅田小のシンボルキャラクターとなりました。児童よりアイデアを募集しました。

『放課後子どもひろば』紹介⑬

町内の6校の小学校を順に紹介させていただきます。今回は、苅田小ひろばです。



晴れた日は元気に外遊び



自由学習の様子



今日は何して遊ぼうか？

苅中リード部演奏会♪



次回登録説明会のお知らせ

- 《日 時》 5月14日(月) 13:30～受付開始 14:00～説明会
- 《場 所》 三原文化会館 大ホール
- 《持参品》 登録料 1人6000円/年、印鑑
- 《対象校》 苅田・南原・与原・片島・白川の5校

*馬場小ひろば参加希望者は、直接馬場小ひろばへお尋ねください。

苅田小子どもひろばは、毎日たくさんの子ども達がひろばを利用しています。日頃、関わることのない異学年との微笑ましい交流の姿も見られます。

家では、ゲームばかりの子ども達も、ひろばでは思いきり体を動かし、いろいろな体験を楽しんでいます。



苅田小子どもひろば

苅田町役場 子育て・健康課
TEL 093-588-1036

学校法人 戸早学園 北九州保育福祉専門学校附属 苅田幼稚園

毎年、年長組さんは、この時期3月にある「親子ふれあい竹馬大会」に向けて、竹馬に挑戦しています。

初めて竹馬に触れるのは、年中組の時です。年長組のお兄さん、お姉さんに乗り方を教えてもらいます。年長組になり、少しずつ竹馬に乗ることに挑戦していき、最終目標である30m(王冠マーク)歩くことを目指しています。取り組む中で、なかなか思うように乗れず、苦戦したり、こけそうになったりする時もあります。そんな時、乗り方のコツを伝えたり、励ましたりする友だちの姿が見られます。



腕や足のつま先に力を入れ、バランスを取りながら一歩ずつ進み、30m歩けた時には、とても嬉しそうで、達成感あふれる表情が見られます。また、友だちが達成すると、自分のことのように喜ぶ姿やその様子を先生たちに伝えてきてくれます。

竹馬を通して、友だちを思いやる気持ちやあきらめない気持ち、集中力などが身につきます。本園の教育目標である「明るく やさしく たくましく」の心が育つ活動の一つです。

3月4日(日)にある「親子ふれあい竹馬大会」では、お家の方に30mを目標に歩く姿や横歩き、後ろ歩き、片足歩きなど、いろいろな乗り方を披露します。その他にもクラス対抗竹馬リレーや乗る所が高い竹馬にも挑戦したり、お家の方にも竹馬に挑戦して頂いたりし、楽しい一日を過ごしたいと思います。



編集後記

先日までのニュースは、

大雪の情報でいっぱいだった。

今では、桜の開花予想。

季節は、春へと移っている。

別れを寂しく感じたかと思うと

期待と緊張の新しい出会い。

何かが始まるワクワク感。

昨日までの気持ちを

リセットできる気がするのも

春の不思議な力かな。

心機一転。

置かれてる場所で

また、歩きだそう。

米盛理英

平成29年度すこやか編集委員

編集長 今林ユリ

照山 功

駒谷 明

米盛理英

濱田 嗣視

森上 直久

高辻 潤一

江藤 律子

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

093(434)9838